



## 陽風語録

己を修め 彼を知り 変に忘ず

## 道は続く

理事長 奥 清

弥生三月…。三月は成就の月であり、別れの月でもあります。そして一つの区切りをつけ、再び新たな道へと歩み出す準備の月でもあります。

陽風園でともに歩んできたのに 一身上の都合により職を辞する者。転居の為去っていく者。そして結婚して幸せな道を求める者など 様々ではありますが、三月末をもって離別しなければならぬ人もいます。勤めに長短はありましたけれども お世話になりましたありがとうございます……。助けてもらい。支えてもらい。励ましてもらい。お互いに頑張つてこられたのです。心から 感謝しています。

人 それぞれ様々です。だから様々な人生があり様々な道を歩むのです。それぞれの人にそれぞれ与えられた道があるのです。その道は天与の尊い道です。その道を他人が羨み真似て歩こうとしても歩くことのできない道です。その人だけしか歩めない道です。その道を一歩一歩歩み続け 今日まで勤め上げていただきありがとうございます！その道は広い時もあつたでしょう。狭い時もあつたでしょう。上りもあつたし下りもあつた。坦々とした平地もあつたし、額に汗する山道もあつたかも知れません。でも怯まず休まず他人の道に心奪われず自分の道をしっかり守り、よく尽しよく勤め、歩み続けていただき深謝しています。ただここで道は終わるではありません。あなたが今まで歩んできた道から、あなたが又求める道へと方向は変わるかも知れませんが、心改めて新しい道を歩み続けて欲しいと期待しています。それが人生です。

人生とは、それぞれ与えられた道を、求めた道を、歩み続ける長い旅です。又歩み出す姿から更に新しい道が開けてくるのです。幸せも深い喜びも生まれてくるのです。あなたと出会えて幸せ者でした。あなたと出会えて果報者でした……。ありがとうございますなあ……。

” 人生離別無くんば 誰か恩愛の重きを知らんや “

# 福祉施設と更生保護

万陽苑施設長 関 澤 進

最近の新聞報道で、犯罪者の保護観察中に「社会奉仕」を義務付けする新制度が導入される見通しになったとの記事がありました。法務大臣の諮問機関、法制審議会では、犯罪者に社会奉仕制度の導入の答申をまとめ、二〇一〇年の通常国会に更生保護法や刑法の改正案を提出する事を目指しているとの事です。

内容では、保護観察の遵守事項として、保護観察付きの執行猶予を受けた被告や、仮釈放されて保護観察下にある受刑者が対象で、公園や道路など公共施設の清掃や介護老人ホームでの奉仕活動が検討されてるとの事でありませう。

陽風園では、安田前理事長の提唱された、ハブ構想（地域・異業種・各種団体との交流）の一環として、平成六年六月「保護観察対象者の社会参加活動の推進」に取り組みました。

今年、二月八日（日）第二十七回目の活動が行われ、竹内政昭金沢保護観察所長の開会の挨拶、

奥 清陽風園理事長の歓迎の言葉がありました。現在までの活動者は、累計で保護観察対象少年一八五名、保護者一一九名、保護司一三六名、BBS会員（犯罪や非行に陥りそうな少年の相談相手になる青年の団体）六二名、保護観察官三九名、陽風園職員一六四名、その他一六名、合計七二二名が活動しております。

活動の内容は、金沢保護観察所、統括保護観察官から活動の主旨（①他者への思いやり  
②自己イメージの改善。③社会的責任の自覚。④社会的視野を拡大し、生活態度の改善を図る。）などを説明。施設側から施設の概況説明。



車椅子での体験や車椅子介助の実技指導を行います。

ボランティア活動では、参加者が六〜七人で一チームとなり、居室・廊下の清掃、ベッドメイキング、ミニレクリエーション、利用者とのコミュニケーション、車椅子で食堂まで送迎等を行います。

ボランティア活動後、場所を移し、「私の明日、見つけた」（法務局作成・本園等が舞台）のビデオ鑑賞。引き続き、全員で昼食を取りながら懇談をします。最後に、ボランティア活動に対する考え方についてのアンケートを記入し解散となります。

この活動の成果は、対象者と保護者、保護司と一緒に作業や食事をする事で、親と子に新たな発見があり、担当保護司には、面接時の話題づくりに役立つなど利点が多く、特に、少年達の活動前後の表情の変化が顕著で有意義です。また、活動後のアンケートでは、ボランティアと言う言葉を一〇〇%知っていて、八八・九%が活動をした事がないと答えています。

この、社会参加活動を平成十四年六月、国連アジア極東犯罪予防研究所が実施する保護司国際研修会で、日本およびアジア地域を中心とする諸国の「刑事司法の各段

階における、拘禁に代わる社会的措置の拡充を検討する会」で紹介させて頂きました。

なお、この会議で、カナダの研究員は講演の中で、カナダでは、一九九六年より刑期が二年未満の受刑者で、社会の安全を脅かさない人を社会の中で条件をつけて服役する、「条件付拘禁刑制度」を導入しているとの話があり、日本でも近い将来、社会内服役制度の導入が検討される事が予想されました。最後に、陽風園では、社会福祉施設自らを地域社会の重要な社会資源と位置づけ、施設の持つ様々な機能を地域に開放しています。

また、園に勤務する職員数名が地域の中で保護司としてボランティア活動をしており、保護観察の知識を持っている事に加え、施設の介護職員の協力体制が整っている事が活動の持続できている要因にもなっています。

犯罪者の社会奉仕制度導入には、ボランティア的な「社会参加活動」と「社会内服役制度」では、内容が全く異なり、受け入れられる施設や、対象者、観察所に多くの検討課題が予想されます。新制度の導入には、保護観察所と連絡を密にし、制度が機能する施設の体制を整えなければならぬと考えられています。

園 だ よ り

交通安全宣言大会

平成二十年十二月九日、講堂で交通安全宣言大会が行われました。今年も金沢中警察署の方々をお招きし、職員及び利用者の交通安全意識の啓発と交通モラルの向上を目的にお話しをして頂きました。

始めに職員代表が交通安全を宣言し、続いて交通巡視員から、県内での交通事故の死者が四十九人であること、死亡事故防止策などを説明して頂きました。また、寸劇で交差点での安全確認の徹底を求め、利用者の方々は真剣に耳を傾けておいでました。



交通安全宣言大会を通して、利用者・職員共に交通安全に対する意識が高まりました。

節 分 祭

平成二十一年二月三日、今年も節分祭を行いました。

昨年は各施設にて豆まきを実施しましたが、今年も例年通り講堂で行うことができました。今回は、奥理事長と、年男の三陽ホーム中川施設長が参加され、例年にも増して賑やかな行事になりました。



また、万陽苑でも2階の大食堂で盛大に行われました。「豆まきが始めると、赤鬼、青鬼に向かつて勢いよく豆が撒かれ、「鬼は外、福は内」と声高らかに大賑わいでした。鬼役には男性職員、そして、豆まきには奥理事長。一層会場は熱気につつまれました。今年もすべての方々に沢山の福がきますようにお祈り申し上げます。

施設 だ よ り

向 陽 苑

余技展で石川県知事賞受賞!!

平成二十年十一月十一日、十四日、社会福祉施設利用者余技展覧会が開催されました。

竹島榮次さんは3品出展し、その中の1品は園祖小野太三郎翁の似顔絵で、ポスターを手本に鉛筆で書き上げ、「なかなか難しかった」とのことでした。努力賞でしたが、殊のほか思い入れが深かったようです。もう1品は、フェルト生地を貼り合わせた大作で、カラーで紹介出来ないのがとても残念な程色使いの見事な「オウム」を仕上げ石川県知事賞に輝きました。

また、丹野長十郎さんは「老人」と題し、自らの特徴を良く捉えた自画像を水彩で描き、技能賞に選ばれました。



万陽苑デイサービスセンター

ゲーム大会・旗源平

お正月の遊びと言えば凧揚げ・羽根つき・独楽回しなど色々あるかと思いますが、利用者の方は口を揃えて「旗源平」と答えておられました。

実はこの旗源平、職員のほとんどが知りませんでした。

そこで利用者の方にルールをお尋ねしたところ、源氏と平家に分かれ二つのサイコロを振り、出た目に合わせて相手の旗を取り、最後に纏まとが立てば勝ちだと教えて下さいました。それをもとにゲーム大会で旗源平を行いました。

当日はルールをしっかりと勉強したはずが間違えてしまったりとハプニングもありましたが、無事に終了することが出来ました。

最後には職員が手作りした大きな纏まとを、一人ひとりが高らかに力いっぱい回しておられました。

利用者の方からは、来年は旗も源平への期待が大のデイサービスセンターです。



# 施設だより

## 第二万陽苑

### 新年会

平成二十一年一月二十六日に恒例の「新年会」が行われました。

会は、施設長の挨拶で始まり、いよいよ福引と喫茶のスタートです。

福引コーナーは瞬く間に長蛇の列になりました。今回の福引はくじ引き方式になっており、今年初めての運試しとあって、利用者の皆さんは一様に真剣な表情でくじを引いていました。なかにはコーナーの職員へ福袋の内容を確認する方や「私はくじ運が悪いから代わりにくじを引いて下さい」と言われる方もおいでました。くじを引いた後は袋の中身を確認して「これ程度ほしかったの。よかった」と言われる方や



そうでない方など一喜一憂する姿もみられ、皆さんそれぞれの表情が印象的でした。

福引の後は、そのまま喫茶コーナーへ移動し、ぜんざいや餡ゼリー、飲み物はコーヒーやこぶ茶、ジュースでお腹を満たし、利用者の皆さんはお互いに「何が当たった?」「私はこんな物が当たった!」と会話が弾む場面が見られました。また、新年会に先立って一月六日には「初釜」が行われ、お抹茶と和菓子で新春の雰囲気を楽しみました。



今後も季節折々に、利用者の皆さんはもろもろのこと、ご家族や地域の皆様に喜んでいただける行事企画を提供し、施設での生活がより質の高いものになるよう取り組んで行きたいと思えます。

## 第三万陽苑

### ゆず湯

今年も毎年恒例のゆず湯が行われました。この時期になるとゆずが匂をむかえる頃となり、寒さに備えるための冬の風呂といえるでしょう。今回は十二月二十二日から二十七日までの一週間をゆず風呂週間とし、皆でゆずの色香を楽しみました。

「わあ、めずらしい」「あら、もうそんな時期かいね」「子供がよるこぶわ」「袋縫って入れたわ」と香りが昔を呼びおこし、お風呂の中での会話も弾み、柑橘類の果皮から出てくる揮発成分が、お湯の中で油膜のようにキラキラ浮いています。「皮を顔にこすったらいいかね」「爽やかな匂いやね」など血流も良くなり、皆さんいつもよりしっとりお肌になったようです。ゆず湯は冬至と湯治を、かけあわせてこの時期に始まったとの説もあり、次の季節には菖蒲湯の予定もあります。お風呂にも四季を取り込み、身体全体でそれを楽しむ、大切にしたいひとときでした。

# 陽風園日誌

11月

南小立野小学校ふれ愛りサイクル

藤間他喜代社中ボランティア

前田明悦民謡会ボランティア

報恩講 (陽風園・第二万)

誕生会 (各施設)

喫茶 (万陽・木越デイ・第三万・三陽ハビリ)

ショッピング (特養三施設)

三陽祭 (三陽ホーム)

秋の日帰り旅行 (万陽苑)

フェスタハビリ

希望者旅行 (ハビリポート若葉)

ビデオ上映会 (第二万・ハビリ)

ランチドライブ

風船バレー大会 (第二万陽苑)

保育参観

お父さんと遊ぼう会

未就園児と父親の遊びの会

妊婦教室

おじいちゃん・おばあちゃん

ありがとう会(みずき保育園)

木越デイサービスマスター利用者と

みずき保育園児との交流会

(木越デイ・みずき)

内川・菊川・つつじが丘・

崎浦・大桑健康づくり教室

(地域福祉支援センター)

# 施設だより

## 三陽ホーム ケータリングサービス

平成二十年十二月四日、三陽ホームの年忘れ会が実施されました。市内某ホテルのケータリングサービスでの企画は今回で三回目を数え、利用者の皆さんには大変好評を得ております。

千歳寮とふれあいルームを会場として、ホテルスタッフによる準備が始まりました。いつもの見慣れた空間が徐々に特別な一日のための会場へと姿を変えて行きます。真っ白なテーブルクロスが掛けられ、カトラリーやナプキンが規則正しく並べられた光景は、流石のレストランを想わせる程の華やいだ雰囲気醸し出しています。

今回はテーブルの中央にタインテーブルが置かれています。大皿に美しく盛りつけられた、和食・洋食を取り混ぜた食卓、豊かな料理が次々と運ばれ、料理を自分たちで取り分けるスタイルで食事を楽しむという趣向です。

食事の後のもう一つの楽しみは、やはりデザート。甘い物は別腹とばかりに、かわいらしいケーキや色鮮やかなフルーツを取り分けていきます。コーヒー・紅茶は好みで。小粒の角砂糖までもが姿よく置かれ、最後まで目で楽しませてくれる演出は、さすがホテル。思いがけない滋味との出会いもあり、それぞれのテーブルでは食も会話も弾んだようです。

ちよつと贅沢でスペシャル感あふれた年忘れ会となり、利用者の皆さんからも「次回も是非ケータリングを・・・」という「声」があがっていました。

年の瀬を迎え、おいしい食事とともに一年の思い出話が大輪の花を咲かせる良き一日となりました。二〇〇九年も明るく元気に笑顔の花を咲かせたものです。



## ハビリポート若葉

金沢山ライオンズクラブ  
からのビデオ寄贈

ハビリポート若葉では、毎週の土曜日、日曜日にはビデオ上映会を行っています。館内のテレビに放映するだけではなく、利用者個人のテレビでも視聴することができます。

昨年十一月十一日に「金沢尾山ライオンズクラブ」から、ビデオデッキ一台とビデオテープ一、〇〇〇本（三、五〇〇タイトルのソフト収録）の寄贈がありました。アニメ、邦画、洋画、ドラマ、ドキュメンタリーと幅広いジャンルの作品があり、また、モノクロ画像の貴重なものからみんなが知っている比較的新しい作品もそろっていました。

お陰さまで今まで以上に、利用者の期待に応えられるビデオを楽しく上映機会とさせていただきます。



## 12月

石川県知事歳末慰問

金沢市長歳末見舞

交通安全宣言大会

美容ボランティア

押野ときわ会大正琴ボランティア

クリスマスコンサート

「京あすかと仲間たち」(陽風園)

年忘れ会

誕生会 (各施設)

喫茶

(万陽・木越デイ・第三万三陽ハビリ)

ビデオ上映会(万陽デイ・第三万ハビリ)

生活発表会

観劇「おやゆび姫」

歯科検診

ねずみ年さよなら餅つき

小中学生との交流

クリスマス会 (みずき保育園)

崎浦・内川・つじが丘・十二屋・

菊川・大桑・健康づくり教室

泉野連絡会(地域福祉支援センター)

木越デイサービスセンター利用者と

みずき保育園児との交流会

(木越デイ・みずき)

ゆず湯

終い湯 (各施設)

仕事納めの式 (陽風園)

# 施設だより

## あけぼの作業所

新年会 ～滝亭にて～

平成二十一年一月二十一日に新年会が滝亭で行われました。昼食時間に合わせて午前中の作業後に出発しました。利用者の皆さんは何日も前から楽しみにしていた方が多く、朝からソワソワと落ち着かず、作業にはあまり手が付かないといった様子が見受けられました。

この日は寒い日でしたが、滝亭は金沢の奥座敷と呼ばれているだけあり風情豊かで、残雪が残る庭園を眺めながら食べる食事は格別で、心身ともに満腹感を味わうことができました。食事を終えた後には恒例となっている「今年の抱負」を一人ずつが発表し、

気持ちも新たに各自がきちんと目標を持って日々の作業などに取り組む姿勢を感



じ取ることができました。

食事が終わると、待ちに待ったカラ

オケの始まりです。自慢のものを披露しようと、すぐにたぐさんの予約で埋め尽くされ、舞台上は人であふれとても大盛況でした。歌いたい曲がカラオケになく歌えない方もいましたが、思い思いに楽しい時を過ごすことができました。同時に、時間の空いた方から温泉にも浸り、日頃の疲れを癒しながら気持ちよく汗を流しました。



日帰りではもったいないようなあつという間の時間でしたが、利用者の皆さんの笑顔が絶えない一日となりました。

これからも利用者の皆さんが楽しんで満足してもらえよう、職員の企画していき

## 木越デイサービスセンター

お茶会で見つけた宝物

木越デイサービスセンターでは、以前お茶の先生をされていた方が利用されるようになり、年に二度程お茶会を開くことになりました。先生は、お茶をたてる際いろいろとこだわりが（お菓子を先にお出しして、お茶碗を温めてなど）あり、作法を知らない職員は、勉強しながらお手伝いさせて頂いています。他の利用者の方は「家でこんなことしてあたらん」と、とても評判が良い喜ばれています。先生ご自身も「私楽しいの。いつでもたててあげる。」と言って下さいます。

お茶会の途中、先生から「着物を着てくれば良かったかしら：でも着物だとお客様が普段着で来て悪いなあと思わせてしまふかしら：」との言葉に、常に相手の事を考えているのだと思えました。見習うべき点忘れていた事を思い出させてくれた一言でした。

お茶会は、お茶その物だけでなく色々な事を学べる良い機会になったと思います。これから他の利用者の方が秘めた素晴らしい物をひとつずつ見つけていきたいです。

### 1月

年頭のあいさつ・仕事始めの式

上野保育園施設訪問

献血 (陽風園)

新年会

誕生会

初湯 (各施設)

初釜 (向陽・万陽・第二万・三陽)

初詣

健康教室 (木越デイ)

喫茶

(向陽・万陽・木越デイ・第三三陽・ハビリ)

ゲーム大会 (万陽デイ)

ビデオ上映会 (第二万・ハビリ)

発表会 (みずき保育園)

乳・甲状腺検診(ハビリポート若葉)

崎浦・内川・つじが丘

十二屋・大桑健康づくり教室

泉野連絡会(地域福祉支援センター)

木越デイサービスセンター利用者と

みずき保育園児との交流会

(木越デイ・みずき)



施設だより

みずき保育園

ドキドキワクワク

生活発表会

平成二十年十二月十三日に〇一才児の生活発表会が行われ、子どもたちの可愛らしい姿を保護者に見てもらいました。

〇才児は子どもたちが動物に扮して毎日の園生活で取り入れている体操や手遊びを楽しみ、泣くことなく発表できました。

一才児は手遊びや子どもたちの好きな絵本の読み聞かせの他に、自分の名前を大声で言う場面では歓声と大きな拍手が起りました。

二才児は「ももたろう」と「ねずみの芋ほり」という劇遊びをしました。「ももたろう」で鬼をやっつける場面では自分たちでやっつけ方を考えていたのですが、本番では本



当に鬼に噛みついてしまっ子も…。



「ねずみの芋ほり」は、ちびっこネズミたちが特大の芋を掘りに行くというお話で、目玉は棒にぶら下り、その棒を保育士が持ち上げて移動するケールカー。保育士は「子どもが落ちないように」とヒヤヒヤしていました。対する子どもは練習中からキャーキャーと大盛り上がりでした。

発表会の後は子どもたちの園での様子をビデオ撮影したものを見てもらいました。可愛い子どもたちの姿を優しい笑顔で見ている保護者の方々がとてもほほ笑ましく、ほのぼのとした雰囲気となりました。

また、親子での手遊びやふれあい遊びを通して家族でスキンシップを楽しんでもらい、歓声と笑顔が絶えることなくとても有意義な一日となりました。

入園者の変動状況 (11月~1月)

施設名	入園者数 (2月1日現在)	入所	退所
向陽苑	240	9	11
万陽苑	183	37	55
第二万陽苑	143	19	21
第三万陽苑	147	12	13
三陽ホーム	104	4	4
ハビリポート若葉	208	1	0
あけぼの作業所	40	0	0
みずき保育園	177	0	0
診療所	17	29	28
合計	1,259	111	132

在宅サービス利用状況 (11月~1月)

施設名	事業	延人数
万陽苑	ショートステイ	375
	デイサービス	771
	ホームヘルプサービス	327
	配食サービス	301
	移送入浴サービス	31
	居宅介護支援事業	507
お年寄り地域福祉支援センター	予防プラン	1,019
	介護相談	631
木越	デイサービス	772
	居宅介護支援事業	89
第二万陽苑	ショートステイ	265
	ホームヘルプサービス	275
	居宅介護支援事業	199
第三万陽苑	ショートステイ	649
	デイサービス	575
	居宅介護支援事業	190
ハビリポート若葉	ショートステイ	12
	日中一時支援	4

ふれあいのまちづくり事業活動

講師派遣日数			
11月	12月	1月	計
0	0	0	0

# 感謝録

11月～1月

(順不同・敬称略)

## ボランティア

- 藤間他喜代社中 (金沢市)
- 前田明悦民謡会 (金沢市)
- 円美会 (金沢市)
- 若柳枝美菊 (金沢市)
- 押野地区ときわ会 (金沢市)
- 新畑ミュージック企画 (金沢市)
- PL金沢南教会 (金沢市)
- カトレアの会 (金沢市)
- 小西グループ (白山市)
- ひだまりグループ (金沢市)
- ひまはりの会 (金沢市)
- 若草幼稚園 (金沢市)
- 富樫大鼓 (野々市町)
- 葉月の会 (金沢市)
- 合歓の会 (金沢市)
- 三色すみれの会 (金沢市)

- あおいの会 (金沢市)
- フレンズ優 (金沢市)
- 内川学童ボランティア (金沢市)
- 中村 俊子 (金沢市)
- 山田富二子 (金沢市)
- 田中美紗子 (金沢市)
- 安岡 龍男 (金沢市)
- 北村由美子 (金沢市)
- 高窪千寿子 (金沢市)
- 佐藤 祐子 (金沢市)
- 荒間 知子 (金沢市)

- 石立美智子 (津幡町)
- 畠中万衣子 (金沢市)
- 松下真知子 (金沢市)
- 勝尾外美子 (金沢市)
- 村尾 和子 (金沢市)
- 朝倉 薫 (金沢市)
- 南 恒太 (金沢市)

## 寄附物品の部

- 金沢尾山ライオンズクラブ (金沢市)
- J A 石川県女性組織協議会 (金沢市)
- (株)福祉施設共済会 (東京都)
- 前田明悦民謡会 (金沢市)
- 押野地区ときわ会 (金沢市)
- 野田中学校校下婦人会連絡協議会 (金沢市)

## 寄附金の部

- 西田 将機 (白山市)
- 吉井 幸司 (金沢市)
- 奥 清 (金沢市)
- 松田 忠秋 (金沢市)
- 浅田 秀子 (金沢市)
- 深田 暁雄 (金沢市)
- 庄田 邦彦 (能美市)
- 末田佐智子 (金沢市)
- 柴田 紘子 (岐阜県)
- 中村 正男 (野々市町)
- 北野 長治 (加賀市)
- 山岸 典子 (金沢市)
- 宮下 貞夫 (金沢市)
- 濱名 久司 (金沢市)
- 米田かずえ (能美市)
- 高嶋 久男 (津幡町)
- 飯田 實 (金沢市)
- 小野 陽子 (金沢市)
- 浅田 (金沢市)

その他匿名 三十一名

ご厚意ありがとうございました。

